山口県生協連ニュース vol.240

発行：山口県生活協同組合連合会
〒753－0083　山口市中後河原 210
TEL：083-923-5614 FAX：083-928-5416
E-mail：yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
http://yamaguchi-kenren-coop.jp/

2023 年 1 月 20 発行

謹賀新年

協同の力で住みよい山口県づくりを

山口県生活協同組合連合会　会長理事　岡崎　悟

新年あけましておめでとうございます。

昨年も山口県生協連ならびに生協連加盟の 13 生協へご支援ご協力を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。

2022 年 2 月 24 日、ロシア軍がウクライナに侵攻を開始し、多くの一般市民が犠牲になる戦争状態が今も続き、隣国や他の地域に避難した方が数百万人を超えています。また、この侵攻によりエネルギー関連や小麦等の食料品の高騰を招き、円安ドル高も相まってあらゆるものの値段が上がり、市民生活は貧困と格差の拡大による分断や孤立が進みつつあります。

県内生協では、昨年新たに山口県立大学生協が設立され、県生協連の加盟生協は 14 生協に増えました。山口県立大学では、新型コロナ感染拡大のため撤退した民間の食堂が大学生協の食堂として再開され、学生の皆さんから好評を頂いています。

山口県生協連では、たいへんな環境変化や社会変化の中、各会員生協が行政や思いを共有できる諸団体、他の協同組合等とのつながり、協同を強めることで、地域のネットワークづくりを強化し、心ゆたかなくらしを支える事業と活動がさらに発展できるように、連合会としての役割を果たしていきたいと思います。

本年も山口県生協連並びに各会員生協へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。

やまぐちピースフォーラム 2022

～次世代へつなぐ平和への思い～

山口県ピースアクション実行委員会*は、2022 年 8 月 5 日（金）、13：00～15：30 KDDI 維新ホールのメインホールで、やまぐちピースフォーラム 2022 を開催しました。参加者はオンライン参加も含めて 280 名

＊（構成団体：山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち　協力団体：山口県原爆被害者団体協議会、（一財）山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑）

「やまぐちピースフォーラム」は、山口県内の全市町の首長が、核兵器のない平和な未来を願って平和首長会議に加盟したことをきっかけに、2010 年から 3 年ごとに開催されています。核兵器廃絶のための運動を自治体・被爆者・市民が共に進めていこうと、これまでに学習活動や被爆者や若い世代、県内自治体首長からの発信をおこなってきました。今回は 2019 年以来 3 年ぶりの開催。

オープニングでは、周南市在住の折出眞喜男さんが「ふるさと～荒城の月～見上げてごらん夜の星を」の 3 曲をピアノ演奏しました。折出さんは戦時下、広島で勤労学生として市内に通学していて、広島原爆の惨禍は免れましたが、惨状を目の当たりにした経験から被爆体験を語り継がれています。

ピースアクション実行委員会の岡崎実行委員長があいさつの後、第 1 部「伝えたい！山口県で感じる平和」第 2 部「山口県版平和首長会議」の内容で進行しました。

第 1 部では折出さんと県内 8 自治体の市長・町長・副町長にご出席いただき、県内で平和活動に携わっている方と子どもたちや折出さんの話を聞いて、身近なところから私たちにできることを考えました。

第 2 部では、ご出席の自治体の市長・町長・副町長から自治体での平和への取り組みやご自身の想いなどを発表していただきました。

会場ロビーではコープやまぐちの組合員さんたちの平和活動報告が展示されました。

山口県生協連 2022 年度第 1 回役職員研修会報告

2022 年 9 月 15 日（木）、生活協同組合コープやまぐち第 3 会議室にて 2022 年度第 1 回役職員研修会を開催しました。

富本幾文先生

参加人数（Web 参加も含む）：69 人
時間　：13：00～14：30

今回は講師に山口大学経済学部　特命教授（国際連携担当副学長補佐）の富本幾文先生をお迎えし、「現在のヨーロッパの現状と、日本・山口県への影響～SDGs を踏まえて」というテーマで講演していただきました。

講師の富本先生は国際協力論、国際公共政策学がご専門で、海外青年協力隊を派遣している独立行政法人国際協力機構（JICA）にて長年にわたり開発途上国への国際協力を歴任されました。

はじめに、県生協連の岡崎会長が「生協はより良い暮らしと平和を目指しています。ロシアによるウクライナ侵攻によって、世界は困難に直面している。核の脅威にもさらされ、平和が危ぶまれています。今日は世界を駆け巡られた先生に今の状況を伺えるということで期待しています」とあいさつをしました。

続いて富本先生の講演がありました。はじめに JICA 職員として赴任した国での戦争・紛争体験を紹介され、次にヨーロッパの現状を話していただきました。ロシアのウクライナ侵攻をどう見るかという視点で、侵攻に至った経緯、侵攻の影響、EU 内部の情勢そして米国の動きをわかりやすく話していただきました。そして日本および山口県への生活への影響を説明されました。このような状況のもとでの日本と山口の課題を SDGs の「貧困」「教育」「ジェンダー平等」「国家間不平等是正」の点からデータを使って説明されました。生協への期待として「国が守れない一人ひとりを守る。誰一人取り残さない（SDGs に直結）、生協は SDGs を達成するためのフロント・ランナーである。山口を目指す難民・避難民への支援もよろしくお願いします」と言われました。

最後に富本先生が JICA で活動されていた時にお会いになられた緒方貞子さんの言葉「文化、宗教、信念が異なろうと、大切なのは苦しむ人々の命を救うこと。自分の国だけの平和はあり得ない」を紹介していただきました。

参加者の感想

◆ウクライナ、ヨーロッパ、世界の現状についてわかりやすく説明頂き、学びになった。山口県や私たちの暮らしに関することも、世界の状況が少なからず影響していること、逆にいえば、私たちの身の周りから、小さなことから SDGs に関することを意識して行動することが、世界を変えることにつながることだと思った。

◆SDGs の世界・日本・山口県の現状を学ぶことができました。特に山口県の数値を見ることでより身近な問題としてとらえることができました。解決に向けて何をしたらいいのかは自分で考えて何か一つでも実行していきたいと思います。

◆ヨーロッパの情勢、ウクライナ侵攻の背景などよく分かりました。難民問題などこれから関心を持ってみたいと思います。自分のことばかり考えていてはいけないと感じました。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名を核兵器廃絶国際署名山口県推進連絡会へお渡ししました。

山口県ピースアクション実行委員会（構成団体：山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち）は平和活動で連携している（一財）山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑の協力要請を受け、昨年７月より「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を組合員などに呼び掛けてきました。

2022 年 8 月末までに 13,848 筆が集まり、9 月 30 日に山口県ピースアクション実行委員会の岡崎悟実行委員長（山口県生協連会長）がゆだ苑の八代拓理事長にお渡しました。

この署名は核兵器廃絶国際署名山口県推進連絡会を通して日本政府へ提出されます。

今後の予定

監事（監事スタッフ）研修会	2 月 10 日（金）	WEB 参加可 日本生協連総合マネジメント本部　法務部 井藤康治氏　予定
県連第 2 回役職員研修会	3 月 16 日（木）	SNS 活用セミナー 中小企業診断士　篠田典彦氏 会員生協には改めてご案内予定です WEB 参加できます。
第 5 回県連理事会	3 月 16 日（木）	